

「消防団の力向上モデル事業」 事業紹介

事業名 消防団連絡体制デジタル化事業

自治体名

熊本県南阿蘇村

消防団名

南阿蘇村消防団

1 事業の目的

南阿蘇村では少子高齢化が進み、人口が減少している。さらに次世代を担う若い世代の減少は著しく、消防団新入団者も減少傾向にある。平成28年におきた熊本地震は村に甚大な被害をもたらし、この人口減少に拍車をかけた。消防団が使用するアプリを導入し、災害対応力の向上と消防団運営における事務負担の軽減を図ることにより、減少する消防団員の確保を行う。

2 事業内容

消防団専用アプリケーションを導入し、約400名の団員に対し、IDとパスワードを付し、現場の把握と早急な周知、出勤可能な人員の把握、出勤記録の報告、出勤報酬支払いまでを一連して行う体制を構築する。

新しい技術を活用して消防団のイメージアップや新入団員の確保につなげる。

3 事業成果

- ① 火災の情報(場所、火災の種類等)が瞬時に確認できる。
- ② 火災現場付近の水利情報が確認できる。
- ③ 水利情報をもとに積載車の配置が迅速になる。
- ④ 現場付近に何台の積載車が配置しているか確認できる。
- ⑤ ポンプ連結等の指示が容易になる。
- ⑥ 団員の出勤状況が把握できる。
- ⑦ 火災現場がはっきりわかるため、到着時間が短縮できる。
- ⑧ 出勤報酬計算等が簡単になる。

4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
説明会	回	1回	1回	
アプリ導入者数	人	全団員	全団員	
新入団員	名	15名	14名	

5 その他参考情報

